

		受 付 N o ※1				
		受 付 年 月 日 ※1				
新技術名称	該当欄に○印を記入してください ○○					
分 類 (該当に○)	新工法	新材料	新製品	その他		
			○			
開発の キーワード (複数記入可 該当に○)	安全	品質	環境	経済性	施工性	リサイクル
				○	○	
	その他					
開発体制 (該当に○)	単独	共同	民・民	民・官	民・学	開発年月
			○			
	開発会社名	民3社共同開発(代表者○○○)		複数の場合は全会社名がわかる資料を添付してください 開発体系がわかる資料等も添付してください		
問合せ先	会 社 名					
	担当部署					
	担 当 者					
	住 所	問い合わせ窓口及び担当者を記入してください				
	T E L					
	F A X					
	E-mail					
新技術の概要						
○○工、河川○○、○○等の工事に用いる製品である。 ○○を○○から○○とし、形状を○○から○○に変更した。 新技術の概要を具体的かつ明確に記入のこと ・何に対して何をする技術か ・どこが新技術か ・どのような公共工事に適用が可能か ・説明用のパンフレット、図面等があれば添付のこと						
新技術の特徴、効果						
新技術の特徴、効果を具体的かつ明確に記入のこと ・既存技術との比較 ・新技術のメリット 従来の○○に比べ、○○が○○と○○倍としたので○○の断面性能が向上している。 (13～36%程度軽減) ○○が○○倍、使用○○が○○に減少しているため、工期の短縮・施工費の縮減が可能となっている。 ○○○の向上により断面性能の低減が不要となる。						

新技術説明書（２／４）

石川県
様式１－２

施工方法						既存技術との比較	
既存技術との比較を具体的かつ明確に記入のこと ・説明に必要なフロー、パンフレット、図面等を適宜添付のこと 従来の〇〇施工では同様であるが、〇〇が必要となる。 〇〇機は専用機が必要となる。専用機は試験施工が完了している。						ほぼ同様	
適用条件（施工・使用上の留意点）						既存技術との比較	
既存技術との比較を具体的かつ明確に記入のこと ・施工上の制約条件（作業スペース、施工場所等） ・施工上の問題点、不確実な点があれば記入 従来と同じ 土質条件： 礫質土、砂質土、シルト、粘性土、有機質土						ほぼ同様	
施工単価（総合コストを考慮したものはその内容も記入）						既存技術との比較	
工種	U型〇〇	〇〇	60〇〇縮	〇〇	〇〇縮減	既存技術との比較を具体的かつ明確に記入のこと ・具体的な積算根拠資料も添付のこと ・総合コストを考慮したものは、その内容を必ず記入してください	
材料費	98.40	84.46	14.2	78.72	20.0		
施工費	15.26	12.14	20.4	9.19	39.8		
合計	113.66	96.60	15.0	87.91	22.7		
備考	標準	標準		協会			
■歩掛なし □歩掛あり（□標準・□暫定）							
残された課題と今後の開発計画							
〇〇とされていないため〇〇としては適用ができない。 現在、〇〇〇機関と協同で対応策を今年度を目途に検討中						課題については具体的かつ明確に記入のこと ・課題に対する対応方針、見込み等も記入のこと ・今後の開発方針、見込み等も記入のこと	
他分野での活用可能性							
他分野での活用については、具体的な検討がなされていなくても、出来るだけ記入するようにしてください 〇〇については、〇〇であるため、〇〇〇〇についての利用が考えられる。							
施工実績 □有り □無し							
県の建設事業			件	該当する項目に数量、丸印、内容を記入してください			
その他の公共機関			件				
民間等			件				
特許・実用新案・他機関による評価等の有無							
特許	1 有り	2 出願中	③ 出願予定	4 無し	番号		
					特許番号		
実用新案	1 有り	2 出願中	③ 出願予定	4 無し	番号		
					新案番号		
他機関による評価、証明	証明機関	国土交通省					
	制度名	技術情報提供システム					
	番号	申請中					
	評価等年月日	申請中					
	証明等範囲	申請中					
	備考						

※記入しきれない場合は別紙として添付してください。

概要図、写真等
（図面、写真等の概要がわかるように寸法、コメント等を適宜記載してください。）

施 工 実 績 一 覧 表

[illegible]